

阿部徳藏 あべとくぞう 奇術研究家。明治二十二年東京小石川久堅町生れ、昭和十九年八月二十五日没（八六才一〇九四）。アマチュア奇術の創始者。大正末、大膽奇術を行ふ。また雑誌『改造』、『少年俱樂部』、『新青年』等へ奇術を題材とした小説を寄稿した。昭和十年東京アマチュア・マジシャンズ・クラブ會長。谷崎潤一郎の「阿部さんの場合」の一文があり、向坂達郎とも親交があった。

著書に、『奇術隨筆』（昭和十一年五月五日京都・人文書院）、『とらんぷ』（昭和十二年十一月二十日第一書房）等。『奇術に賭けた人生』阿部徳藏氏の横顔』（昭和四十六年十月十七日東京アマチュア・マジシャンズ・クラブ）刊。

